

# 北海道余市紅志高等学校のスクール・ミッション

令和7年4月1日

## 1 北海道高等学校長としてのミッション ～つながる力、つなげる力の育成～

北海道の豊かな物的あるいは人的資源の価値に気づき、その価値を多くの人々と共有し、さらに高い価値を付与しながら、広く世界の人々とのつながりを構築して、北海道の財産を有効に生かすことによって人々が住まう地域の豊かな暮らしを自ら作り上げようとする人、また、それらに取り組むところに幸福観や充実感を感得できる人の育成

## 2 スクール・ミッション ～つながる力、つなげる力の育成～

- (1) 系列を構成する横断的な選択科目における体験的な学習を通じて、自らの考えを広げ深め、自らの学びを振り返り次の学びにつなげていこうとする生徒の育成
- (2) 地域の物的・人的資源から学んだり、新しい価値を生み出したりする取組を通して、地域の課題を地域の人々とともに解決していこうとする意欲と経験知を身に付けた生徒の育成
- (3) 多様な人々とのつながりを築き、協働的に豊かな地域社会を、ひいては豊かな世界を作り上げようとする生徒の育成

## 3 校訓

学べ 優しく 逞しく

## 4 学校教育目標

社会で生きて働く力を身に付け、  
自分の力で逞しく未来を切り拓き、  
地域の創造に貢献できる人の育成

## 5 育成を目指す資質・能力に関する方針

- (1) 学べ(知的活動、知識習得、見通し)＝思考力・判断力
  - ア 基本的知識・技能
  - イ 課題発見・解決力(状況把握・情報活用→課題発見→計画立案、メタ認知など)
  - ウ 言語能力(言語活用能力、対話力など)
- (2) 優しく(人間関係、相手意識・ホスピタリティ、モラル)＝想像力・表現力
  - ア 協働性(相手意識、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性など)
  - イ 自己尊重(自己理解・他者理解、自己肯定感、規範意識、傾聴力、表現力など)
  - ウ 多様性理解(寛容性、外国語等能力(含む手話)、対話力など)
- (3) 逞しく(自己理解、自尊感情、自己有用感、コンフィデンス、意欲・意思)＝主体性
  - ア 意欲・実行力(自己有用感、意思など)
  - イ 責任・使命(自立心、自尊感情など)
  - ウ 健やかな身心(自己理解、規律性、自律、忍耐力など)

## 6 教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 学校教育目標やめざす生徒像実現のため、教科・科目横断的な教育課程の効果的編成に努める。
  - ア 単元配列表を活用し、意図的・計画的な横断化を推進する。
  - イ 総合的な探究の時間を各教科・科目で培った知識・技能及び資質・能力を総合的に活用・評価する場面として位置づける。
  - ウ 生徒の主体性を育む空き時間の設定
- (2) 各系列の趣旨を明確にし、趣旨に基づいた特色ある科目を設定してめざす生徒像の実現を図る教育課程の編成に努める。
  - ア 系列ポリシーを意識し、どのような資質・能力を育てるための科目を設置するのか自覚的に教育課程を編成・実施するとともに、科目選択時の生徒への説明を重視する。
  - イ 大学進学等に対応する科目は自由選択科目群に配置する。
- (3) 生徒の特性や地域の教育資源を十分活用できるよう、地域に開かれた教育課程の編成に努め、生徒が将来どのような地域で生活しても、地域社会の一員として地域の課題解決を図ろうとする資質・能力を育成する。
  - ア 生徒の実習により生産されたワインの販売や活用方法、価格設定等の学習を通じて目指す資質・能力の育成を推進
  - イ エディブルフラワーの生産を軌道に乗せ、各教科、課題探究での活用を図るとともに、飲食店との連携による活用など6次産業に係る学習へと発展
  - ウ 高齢者福祉施設や養護学校との連携を維持、発展させ、課題探究、学校設定科目、課外活動など農福連携機会の積極的導入を工夫
  - エ ICTを活用した楽しい語学学習、外国語によるコミュニケーション、わかる、できる通じる実感を大切に学習指導

## 7 入学者の受け入れに関する方針

- (1) 中学校までに将来の進路目標が見つかっていなくても、本校に入学してから、自らの在り方・生き方を仲間や教員とともに、地域をステージとした様々な体験的な活動を通じて探究し、自ら進路目標を決定し、進路実現を果たそうとする生徒。
- (2) 自らの考えや思いをことばや創作物などのパフォーマンスによって他の人に伝えたり、他の人の考え方や思いをよく見聞きして想像したりしながら理解を深め、年齢、性別、国籍や文化の違いを超えて人とのつながりを持ちたいと考えている生徒。
- (3) これまで、自分に自信が持てなかったり、自分のよさを見つけられずにいたとしても、高校で身に付ける基礎的・基本的な知識や技能を様々な体験の場で活用して、自分の良さや活躍場面を発見し、将来自分らしく、たくましく生きていきたいと考えている生徒。

系列の目標及び学習内容と特色

系 列	目 標	学 習 内 容 と 特 色
国 際 理 解	<p>ワインや果物、観光資源など、地域の価値を外国語やICTを介して広く世界に発信する活動を通して、世界の様々な人々と地域を結び付け、自らも世界とつながろうとする意欲や言語能力、発信力を身に付け、地域のグローバルな発展に貢献する生徒を育てること目標としている。</p>	<p>「外国語表現」、「服飾文化」、「地域研究」など、異文化や生活文化に関する理解を深めるとともに日本語及び英語による表現力を身に付ける。</p> <p>大学進学や町役場や金融、特色ある地域企業など、地域振興に係る就職希望者を育成。</p>
生 産 ビジネス	<p>地域の基幹産業である果樹・園芸栽培学習を基礎とし、食の6次産業化を推進するためのビジネスやマネジメントに関する学びを通して、地域の人々とともにワインや果樹栽培に関する諸課題の解決に取り組もうとする使命感を身に付け、地域産業の発展に貢献する生徒を育てることを目標としている。</p>	<p>「野菜」「果樹」「食品製造」「ビジネス基礎」「情報処理」「地域ビジネス」などの学習を通して地域のニーズに合わせた生産、加工、販売の工夫について体験し、産業社会を支える基本的な資質・能力を身に付ける。</p> <p>大学進学や、生産、加工、販売に関する地域企業など、地域振興に係る就職希望者を育成。</p>
生 活 ・ 福 祉	<p>高齢者や障害者をはじめとする生活者との関わりを通して、生活課題に気づく細やかな感性や多様な他者と共生するために求められる健やかな心身を養い、全ての人がよりよい生活を送ること(Well-being)ができる豊かな地域の創造に貢献する生徒を育てることを目標としている。</p>	<p>「介護福祉基礎」「生活支援技術」「フードデザイン」「ユニバーサルスポーツ」などの学習を通して地域の生活者の視点から生涯豊かに住み続けられる持続可能な地域作りのための意欲や資質・能力を身に付ける。</p> <p>大学及び専門学校への進学や、介護福祉施設、障害者雇用に積極的な企業への就職など、地域づくりにかかわろうとする生活者を育成。</p>